

4分割案絞り込み強行

法定協 維新、「大阪都」で



2015年の住民投票で否決された「大阪都」構想を煮し返し、再び設計図案づくりを話し合う第8回大都市

制度（特別区設置）協議会（法定協）が22日、大阪府庁で開かれまし

区割り案の絞り込みを強行した第8回法定協議会（22日、大阪府庁

た。

協議会で今井豊法定協会長（維新の会）は、提案されている「特別区」素案の四つの区割り案の内、現在の淀川区と東淀川区をいっしょにし、大阪市を四つに分割する案（4区B案）への絞り込みを採決することなく、強行し、今後協議をすす

ていくと報告しました。

協議会で日本共産党の山中智子大阪市長は、政令市の大阪市をつぶして設置される

「特別区」は自主財源に乏しい一般市にも満たない半人前の自治体であり、設置そのものに反対だと改めて表明。その上で「ニア

・イズ・ベター」（住民に近い行政）は看板倒れだということが明確になった」と絞り込みに反対。自民は「維

新以外は「特別区」設

置に反対している。もはや議論の必要はない」と、協議の打ち切りを要求しました。

この意見を受け、松井一郎知事は「法定協は『特別区』の設計図をつくるため設置されている協議会。その協議会の趣旨が理解されていないということなら、メンバーを変え

か、出て行くかしたらいいじゃないか」と発言。法定協から反対派委員を排除し、維新だけで独裁的に設計図を作成した前回の思い起

こさせるとの強引な姿勢を示しました。

不毛な議論は終わらせる時

山中・共産党市議団幹事長コメント

日本共産党の山中智子大阪市長は、22日、特別区案が絞り込まれたことに関しコメントを出しました。

この間の議論を通して、特別区は政令市・大阪市の廃止とセットである上、東京特別区がぞって廃止を志向しているように、自主財源に乏しい一般市にも満たない半人前の自治体であることが改めて明らかになり、維新の会以外の全会派がこの特別区の設置そのものに反対しています。

そういう中で、区割り案の絞り込みが強行されましたが、そもそも、前回5区で否決さ

れたので今回は4区と6区を提示したにすぎず、いずれも五十歩百歩としか言いようがないものです。4区B案を除けば、府内にこんな大きな自治体はありません。ニア・イズ・ベターもまさに看板倒れであり、絞り込んだ区割りで議論することに不毛さを感じます。一日も早く、不毛な議論を終わらせ、住民投票を断念させるためにがんばります。

都構想の売りの一つ

は「ニア・イズ・ベター」ですが、4区B案では、特別区の人口が60万人〜75万人。堺市を除けば、府内にこんな大きな自治体はありません。ニア・イズ・ベターもまさに看板倒れであり、絞り込んだ区割りで議論することに不毛さを感じます。一日も早く、不毛な議論を終わらせ、住民投票を断念させるためにがんばります。

は「ニア・イズ・ベター」ですが、4区B案では、特別区の人口が60万人〜75万人。堺市を除けば、府内にこんな大きな自治体はありません。ニア・イズ・ベターもまさに看板倒れであり、絞り込んだ区割りで議論することに不毛さを感じます。一日も早く、不毛な議論を終わらせ、住民投票を断念させるためにがんばります。



山中・共産党市議団幹事長コメント
日本共産党の山中智子大阪市長は、22日、特別区案が絞り込まれたことに関しコメントを出しました。

この間の議論を通して、特別区は政令市・大阪市の廃止とセットである上、東京特別区がぞって廃止を志向しているように、自主財源に乏しい一般市にも満たない半人前の自治体であることが改めて明らかになり、維新の会以外の全会派がこの特別区の設置そのものに反対しています。

そういう中で、区割り案の絞り込みが強行されましたが、そもそも、前回5区で否決されたので今回は4区と6区を提示したにすぎず、いずれも五十歩百歩としか言いようがないものです。4区B案を除けば、府内にこんな大きな自治体はありません。ニア・イズ・ベターもまさに看板倒れであり、絞り込んだ区割りで議論することに不毛さを感じます。一日も早く、不毛な議論を終わらせ、住民投票を断念させるためにがんばります。

そういう中で、区割り案の絞り込みが強行されましたが、そもそも、前回5区で否決されたので今回は4区と6区を提示したにすぎず、いずれも五十歩百歩としか言いようがないものです。4区B案を除けば、府内にこんな大きな自治体はありません。ニア・イズ・ベターもまさに看板倒れであり、絞り込んだ区割りで議論することに不毛さを感じます。一日も早く、不毛な議論を終わらせ、住民投票を断念させるためにがんばります。